

本稼働向けユーザテスト仕様書 TB編

Version 2026.03.18



Table of Contents

1. 全体概要	1
1.1. スケジュール	1
2. 実施環境	2
2.1. URL	2
2.2. オンライン時間	2
2.3. 推奨環境	2
2.4. ユーザID	2
2.5. テスト銘柄	2
2.6. 環境利用不可日	4
2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル	4
3. テスト環境におけるユーザテスト	5
3.1. 業務シナリオテスト	5
3.2. 連動テスト	6
3.3. 完了報告	6
4. 本番環境におけるユーザテスト	7
4.1. 業務シナリオテスト	7
4.2. 連動テスト	7
4.3. 完了報告	7
5. フォールバックプラン	8
6. お問い合わせ先	9

Chapter 1. 全体概要

- 本ドキュメントは、CredNex（新ETF設定交換プラットフォーム）の本稼働時点における機能を対象としたユーザテストの概要を記載したドキュメントです。
 - 本稼働時点の機能とは、2026年6月に稼働を予定している現物型ETFを対象とした機能群を含む、すべての機能を指します。
- 本資料は、2025年9月の初回稼働時点からCredNexに参画済のTBが対象となっています。

1.1. スケジュール

ユーザポータルサイトの「本稼働対応 2026年6月 専用ページ」をご確認ください。
[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

Chapter 2. 実施環境

2.1. URL

CredNex テスト環境

<https://stg.crednex.jp.co.jp>

CredNex 本番環境

<https://crednex.jp.co.jp>

2.2. オンライン時間

テスト可能なオンライン時間は以下のとおりです。

営業日 7:00～22:00

※テスト・本番環境で共通

2.3. 推奨環境

OS: Windows 11

ブラウザ: Google Chrome または Microsoft Edge

※テスト・本番環境で共通

2.4. ユーザID

TB権限ユーザのID・パスワードは申請書の内容に基づき別途配布します。

参画済のTBは、既に払出済みのユーザIDおよびパスワードをご利用ください。

2.5. テスト銘柄

AMが提出した申請内容に基づき登録した「①実銘柄」と、TBが独自にテストを行うための「②事務局管理銘柄」をご利用いただけます。

①実銘柄

本番運用開始後に実際に使用される銘柄を指します。AMの申請内容を基に、CredNex本番環境・テスト環境双方に銘柄を登録しています。

指定参加者として登録されたAPおよび銘柄を取り扱うTBのみが、申込登録や承認などの操作を行えます。

後述の連動テストは、本番運用を忠実に再現するため、必ず本銘柄をご利用ください。

②事務局管理銘柄

CredNex事務局が保有するAM組織に紐付く銘柄です。

各TBに紐付く銘柄が2銘柄ずつ払い出されます。事務局のみが申込～計算書登録の操作が可能です。

事務局管理銘柄に関する銘柄情報・申込情報は、その銘柄に関連するTBおよび事務局のみ、閲覧および操作が可能です。

後述の業務シナリオテストは本銘柄を使用してください。連動テストでは、他組織に閲覧権限がないため使用できません。

事務局管理銘柄に対し、隔週で事務局が申込～計算書登録の申込フローを代理で操作することで、計算書登録後のフローの確認（後述する業務シナリオテストの実施）が可能となります。

全てのスケジュールにおける業務シナリオテストの実施は必須ではなく、各TBが自由に参加回を選択

可能ですが、計3回の実施で、すべてのテストケースの消化が必須となります。

テスト実施	計算書確定日	申込～計算書登録	計算書承認または差戻	計算書の再登録
1回目	2026年3月31日 火曜日	テスト日の午前中に事務局が実施	事務局管理銘柄については、TBが自由に承認または差戻可能。	計算書確定日の15時-16時に事務局が実施
2回目	2026年4月14日 火曜日	同上	同上	同上
3回目	2026年4月28日 火曜日	同上	同上	同上

- TBが計算書承認しなかった申込は、翌営業日には取消（債務引受なし）または計算書確定済（債務引受あり）のステータスになります。
- 計算書確定日の15:00時点でステータス「計算書差戻」になっている申込は、事務局が再度、計算書を登録します。差戻前後の計算書の内容は同一となっています。
- 各回における事務局が登録する申込は、1銘柄に対して設定申込1件、交換申込1件を登録する予定です。1社のTBにつき、合計4件の申込が登録されます。

TB	銘柄コード	債務引受（設定交換で共通）	銘柄名称 日本語	銘柄名称 英語	基準価額算出日	計算書確定日	信託設定解約日	決済日	商品属性
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	TB210	あり	TB用 事務局管理 現物 銘柄 1	TB 1	T+0	T+0	T+1	T+2	現物設定・現物交換
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	TB220	なし	TB用 事務局管理 現物 銘柄 2	TB 2	T+0	T+0	T+0	T+2	現物設定・現物交換
株式会社日本カストディ銀行	TB230	あり	TB用 事務局管理 現物 銘柄 3	TB 3	T+0	T+0	T+1	T+2	現物設定・現物交換
株式会社日本カストディ銀行	TB240	なし	TB用 事務局管理 現物 銘柄 4	TB 4	T+0	T+0	T+0	T+2	現物設定・現物交換
野村信託銀行株式会社	TB250	あり	TB用 事務局管理 現物 銘柄 5	TB 5	T+0	T+0	T+1	T+2	現物設定・現物交換
野村信託銀行株式会社	TB260	なし	TB用 事務局管理 現物 銘柄 6	TB 6	T+0	T+0	T+0	T+2	現物設定・現物交換

2.6. 環境利用不可日

CredNexはユーザテスト開始後も利便性向上のため開発を継続します。そのため、環境が利用できない日が発生する可能性があります。

利用不可日時は事前にアナウンスし、ユーザポータルサイトの「本稼働対応 2026年6月 専用ページ」で公開します。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル

CredNexユーザポータルサイトの「ファイル設計書 / サンプルファイル」をご参照ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

Chapter 3. テスト環境におけるユーザテスト

テスト環境では、業務シナリオテストの実施を必須とします。連動テストの実施は任意です。

3.1. 業務シナリオテスト

CredNex上でTBが可能な操作は原則すべて実施し、その結果が想定どおりかを確認します。TBの設定交換業務における一連のフローを、以下の観点で確認します。具体的な実施ケースは本資料の「テストケース」項目および別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_TB」をご参照ください。使用する銘柄は、本ドキュメント「テスト銘柄」欄に記載の「②事務局管理銘柄」をご利用ください。なお、業務シナリオテストにおけるCredNex画面上操作の手順・方法につきましては、CredNexユーザーポータルサイトの「CredNex操作マニュアル」をご参照ください。
[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

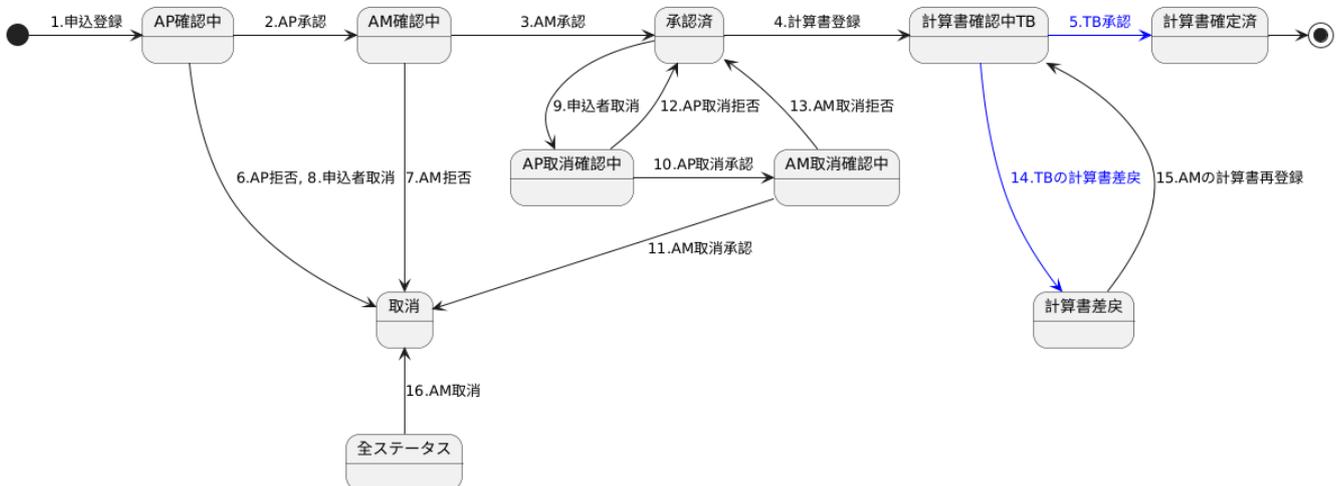
観点

計算書承認フロー

計算書の承認・差戻・再承認までの一連のフローが問題なく実行できるかを確認します。定常運用におけるTBの操作可能範囲をステータス遷移図上で青色で示しています。各操作を行うことで、期待どおりに申込ステータスが遷移するかを確認します。

各種情報取得

申込情報、計算書、銘柄マスタ、申込受付不可日の各種ファイルがダウンロード可能であること、また必要に応じて使用しているシステム・ツール等で正常に取込が可能であることを確認します。



3.1.1. 環境条件

ユーザテスト期間中は、債務引受有りの申込であっても、債務引受データは現物清算システムに連携されません。そのため、CredNex上で承認された債務引受情報は、現物清算システムで参照できませんのでご注意ください。

3.1.2. テストケース

No.	テストケースカテゴリ	必須/任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。
2	申込情報の閲覧	必須	申込一覧画面、申込詳細画面で申込情報が正しく閲覧できることを確認する。
3	計算書の承認	必須	申込一覧画面で、計算書の承認ができる。また、計算書を差戻、AMから再度提出された計算書を承認できる。
4	銘柄マスタの確認・ダウンロード	必須	銘柄マスタの画面閲覧およびファイル取得が可能なことを確認する。
5	申込受付不可日のダウンロード	必須	申込受付不可日のファイル取得が可能なことを確認する。
6	PCFのダウンロード	必須	PCFのファイル取得が可能なことを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_TB」をご参照ください。

3.2. 連動テスト

関係するAPやAMなど複数社が申込に対して操作することで、本番業務運用フローを疑似的に検証する連動テストを実施可能です。

必要に応じて、銘柄の発行者となっている各AMと調整のうえ、実施内容・日時をご調整・ご判断ください。

本テストは任意実施であり、テストケースに東証からの必須条件はありません。ただし、使用銘柄は本ドキュメント「テスト銘柄」欄の「①実銘柄」をご利用ください。

3.3. 完了報告

テスト完了後は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_TB」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。

テスト環境における完了報告書の提出期限は2026/5/29（金）です。

ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 4. 本番環境におけるユーザテスト

本番環境でのログインテストの実施を必須とします。
ただし、参画済みのTB各社は既にログインテストを実施済みのため、改めての実施は不要です。
本番環境における連動テストに関しては、実施は任意です。

4.1. 業務シナリオテスト

参画済みのTBにおいては、業務シナリオテストの実施は不要です。

4.1.1. 環境条件

本番環境においては、既に一部の金銭型ETFの本番業務運用が開始されているため、営業日での業務シナリオテストの実施は禁止となります。

4.2. 連動テスト

内容・テスト項目についてはテスト環境と同様です。
連動テストを実施いただけるタイミングは、以下の日時となります。
2026/5/16（土） 時間未定
※詳細な時間については、別途ご案内いたします。

4.3. 完了報告

テスト完了後は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_TB」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。
本番環境における完了報告書の提出期限は2026/5/29（金）です。
ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 5. フォールバックプラン

2026年6月に予定しているCredNexの本稼働において、CredNexへのシステム移行ができないと判断された場合は、CredNex・現行PFの銘柄マスタは移行前の状態に戻り、各システムにおいて本番業務を継続する方針（フォールバックプラン）を想定しています。

CredNexおよび現行PFの各システムの銘柄は移行前のマスタ状態に戻り、CredNexに移行予定であった銘柄における設定交換業務は現行ETFPFで取り扱われます。

CredNexに移行済みの銘柄は、引き続きCredNexで取り扱われます。

なお、フォールバックプランの発動タイミングによっては、マスタの復旧後、CredNexにおける移行済み銘柄における設定交換業務を、新しいインターフェース（GUI・API）で実施いただくか、本稼働前の古いインターフェースで実施いただくかが異なります。

どちらの方針とするかは、フォールバック発動時のご案内にて明記する予定です。

フォールバックプラン発動時を想定した依頼事項は以下のとおりです。

- 東京証券取引所・JPX総研・JSCCが協議した結果、フォールバックプランの発動が必要と判断された場合は、ユーザ全員に周知の上、現行ETF設定交換プラットフォームで業務を継続するための作業を行います。
- フォールバックプラン発動時は、CredNexに移行予定だったETF銘柄の設定交換業務を、現行ETF設定交換プラットフォームで継続していただきます。

Chapter 6. お問い合わせ先

東京証券取引所 株式部 CredNex担当
JPX総研 ITビジネス部 CredNex担当

メール

ask-crednex@jpx.co.jp

※メール件名に「組織名」を記載いただきますと幸いです。

電話

03-3666-0141（代表）

※現行ETF設定交換プラットフォームや清算制度に関するご質問は、お手数ですが日本証券クリアリング機構（JSCC）へお問い合わせください。